

大教室のAV設備をタブレット端末で管理するソリューション事例

大学の教育現場のDX化を支えるATENのVKシリーズ



▲九州産業大学 1号館 S201号講堂

導入先

九州産業大学
1号館 S201号講堂

導入製品

会議室管理システム VKシリーズ

活用シーン

行動内でのAV設備の一元操作

用途

タブレット端末でのAV機器の操作

概要

九州産業大学は教育現場のデジタル化を推進するため、ATENのVKシリーズを学内で最も大きな講堂(570名収容)に導入しました。VKシリーズは教員や外部講演者が簡単にタブレット端末でAV機器を操作できるシステムで、タッチパネルの直感的な操作性により、初めての利用者でも問題なく操作できるようになりました。以前は機器の操作説明やトラブルでサポートが必要でしたが、VKシリーズ導入後はその負担が大幅に軽減し、講演や授業の進行がスムーズになりました。大学の教育現場でのDX化は授業や講演の質向上にも寄与し、教育の未来を切り開く重要な取り組みとなっています。

導入製品

VKシリーズ

VK248



VK2200



九州産業大学 教務部 教務課長 伊東真比呂様にお話を伺いました。

取材日：2024年7月26日

取材
ご協力

Q. 講堂にVKシリーズを導入いただいた背景を教えてください

伊東様：この製品を利用しているのは、1号館のS201の講堂です。この建物ができたのが1993年ですので、もう30年以上が経っています。

この講堂には当初、簡素な設備しかありませんでした。建設して10年ほどで教卓やAV設備を導入しましたが、タッチパネルの使い勝手が悪く苦勞していました。その後、2014年に教室を大規模に改修し、その際に椅子やテーブルも入れ替え、スクリーンやAV設備も一新することにしました。今回2022年の改修で、パートナーのベネックスソリューションズさん(裏面に掲載)に相談しながら最適な設備を選定しました。

Q. VKシリーズの導入により改善された点を教えてください

伊東様：この講堂は授業で使うだけでなく、講演会や外部の方に貸し出すことも多いので、以前は教卓にマニュアルを置いて使い方を説明していましたが、現在のシステムは簡単な操作の説明だけで済むようになりました。見やすいタッチパネル端末で簡単に操作できるようになったのでストレスなく使えます。

Q. 導入後の評価はいかがでしたか

伊東様：このシステムの導入前は我々のサポートが必要でしたが、今では事前に操作タブの簡単な説明をするだけで、講演者自身で操作できるようになりました。このシステムは非常に直感的で、スマートフォンのように操作が簡単なので、初めて使用する方でも問題なくご利用をいただいています。これにより、私たちのサポート業務も大幅に軽減されました。

この講堂は大学の中で最も大きな教室で、授業や講演、保護者の方が来られた時にも使用します。そのため設備の使い勝手や最新技術の導入は非常に重要です。DX(デジタルトランスフォーメーション)の観点からも教育現場でのデジタル化が求められており、学生たちにもその恩恵を感じてもらえるよう努めています。



◀講堂の演台に設置されたタブレット端末画面

導入のポイント

課題・要件

- 大学の講堂リニューアルに合わせてAV設備を刷新し、管理や操作のシステムをより使いやすいものに変更したい

導入効果

- ☑ 手元のタブレット端末で全AV設備のカンタン操作が可能に
- ➔ 教員や外部講演者でもタブレット端末で簡単にAV設備を操作できる環境を実現。利用者への操作説明やサポート工数も大幅に減らすことができ、効率化に貢献

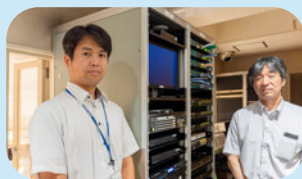
主な導入製品

VK2200 コントロールボックス



ATEN製品や会議室等に設置している機器を、タブレットやATEN専用タッチパネル端末で直感的に操作・制御可能。

タブレット端末の操作画面



本システムを構築したベネックスソリューションズ株式会社 秋吉智希様、野口康広様にお話を伺いました。

(以下「ベネックス」と記載)

▲写真：S201講堂コントロールルーム内にて撮影

Q. 本システムを構築した時期や管理設備を教えてください

ベネックス 秋吉様：導入時期は2022年で、本格的に運用を開始したのは2023年4月からです。

年度末の3月までイベントや催し物が多く、その期間に準備も含めて2023年3月には運用を開始しました。運用開始直後から、多くの利用者から高評価をいただいています。基本的に照明やプロジェクター、ライティング、マイク、暗幕、スクリーンなど、全てのAV設備をコントロールしています。これにより講演や授業の準備が非常にスムーズに行えます。

Q. 操作画面ではどのような点に考慮されましたか

ベネックス 秋吉様：伊東課長や大学の方々の要望を反映しながら操作画面を設計しました。使いやすさを最優先に考え、タッチパネルの表示や操作性には細部までこだわりました。

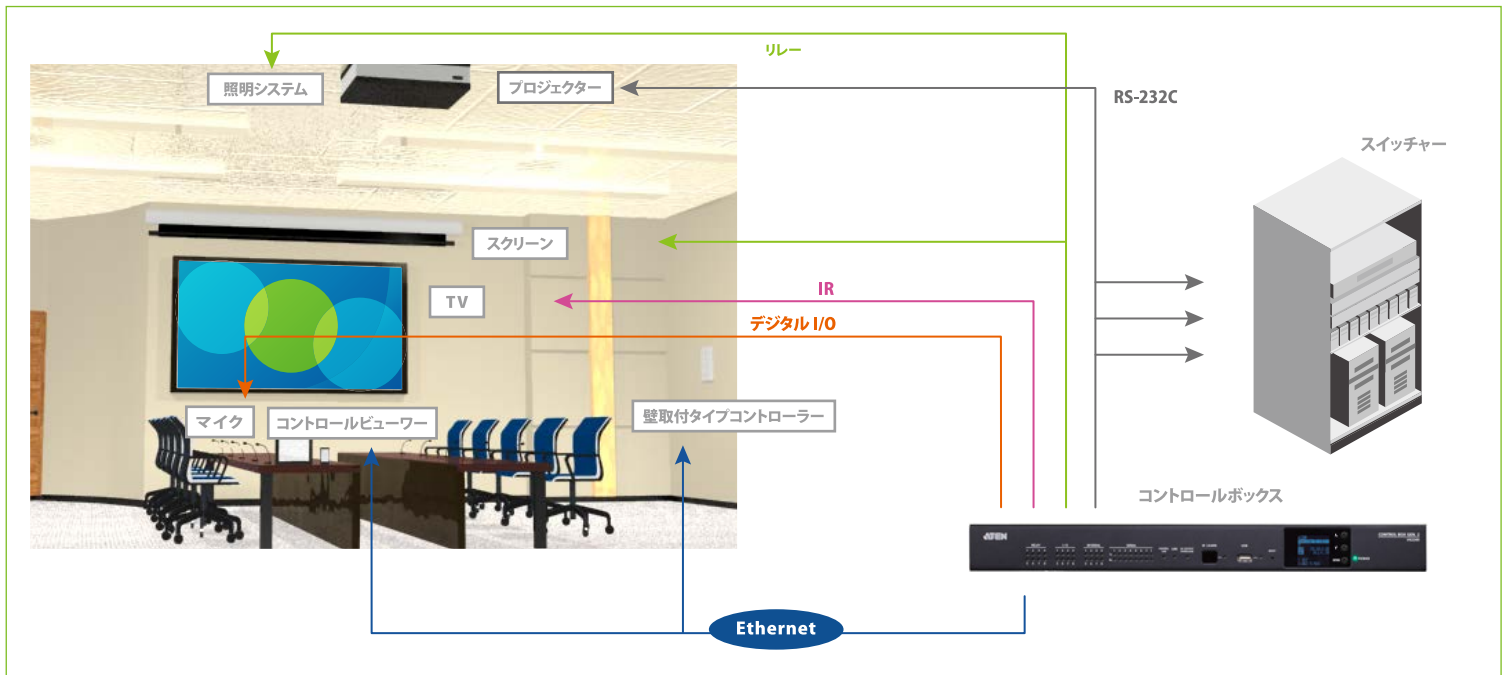
Q. VKシリーズを選定いただいた理由を教えてください

ベネックス 野口様：講演者やスタッフが簡単に操作でき、カスタマイズができて、トラブルが少ない点です。多くの方が使用する講堂なので、直感的に操作できるシステムが必要でした。またコロナ禍の影響でリモート授業が急増し、リモート対応でのカメラの設置と、カメラや音響設備を簡単に操作できるシステムが必要でした。さらにタッチパネル端末側もカスタマイズできる柔軟性が求められていました。ATENの製品はそうしたニーズに応えられるものだったので選定しました。

以前はWindows OSのタッチパネル端末を使用していましたが、OSのバージョンアップへの対応やパソコンがクラッシュしたり、起動まで時間がかかるといった問題がありました。

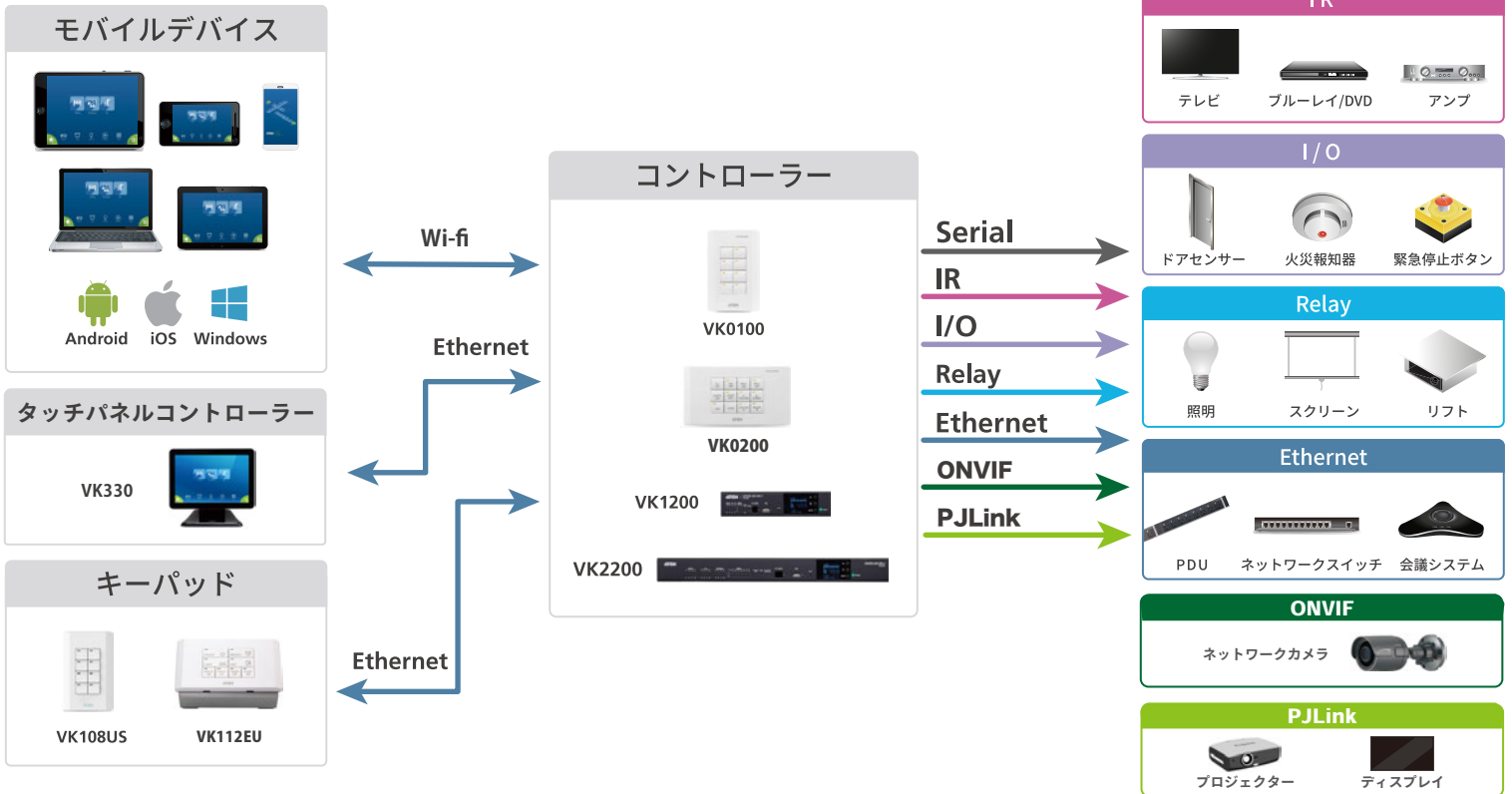
VKシリーズはハード面での信頼性が高く、画面のレイアウトも自由に決められる点を評価しました。特に直感的な操作性と高い信頼性が決め手となりました。

VKシリーズ 会議室ソリューション 構築イメージ(参考)



VKシリーズ 会議室ソリューション システム構成図(参考)

- システム制御の中心として、様々な機器に対応
- 有線 / 無線の各モバイルデバイスに対応。キーボードやタッチパネルなどを使用し簡単操作が可能



ホームページ
<https://www.aten.com/jp/ja/>
 カタログに掲載されている情報は更新されることがあります。
 最新情報やセミナー等、詳しくはホームページをご覧ください。

入って安心!
 製品保証延長
 オプション

・掲載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。
 ・掲載した商品の仕様等は予告なしに変更する場合があります。
 ・このチラシの掲載内容は2024年8月現在のものです。

ATEN ジャパン株式会社
ATEN
 Simply Better Connections

東京本社
 〒116-0003
 東京都荒川区南千住 3-8-4 ATEN ビル
 TEL : 03-5615-5810 FAX : 03-3891-3810
 Email : sales@atenjapan.jp

他拠点情報、製品情報については
 右記 QU コードからご覧いただけます。

東京 | 北日本 | 名古屋 | 大阪 | 広島 | 九州

